

貨幣論から見る経済学史

講師：西部 忠(にしべ まこと)

日時：2014年7月25日(金)
15:00～18:00

場所：駿河台校舎 グローバルフロント5階 C1会議室

「貨幣」を焦点として、「経済学がこれまで何を見てこなかったか」を、理論的・思想的に明らかにする仕事を続ける稀有な研究者。

一方で、貨幣の新しい実験としての「地域通貨」に関心を持つ。

—貨幣から経済を見ることではじめて見えてくるものとは何か?—

今回の講演ではこのことについて、近著『貨幣という謎』のテーマを中心に分かりやすく語ってくれます。(文責重田園江(政治学研究科))

【プロフィール】

東京大学経済学部卒，ヨーク大学大学院経済学研究科
修士課程を経て，経済学博士（東京大学）
北海道大学大学院経済学研究科教授

【著書】

『資本主義はどこへ向かうのか
内部化する市場と自由投資主義』NHKブックス 2011
『貨幣という謎—金（きん）と日銀券とビットコイン』
NHK出版新書、2014